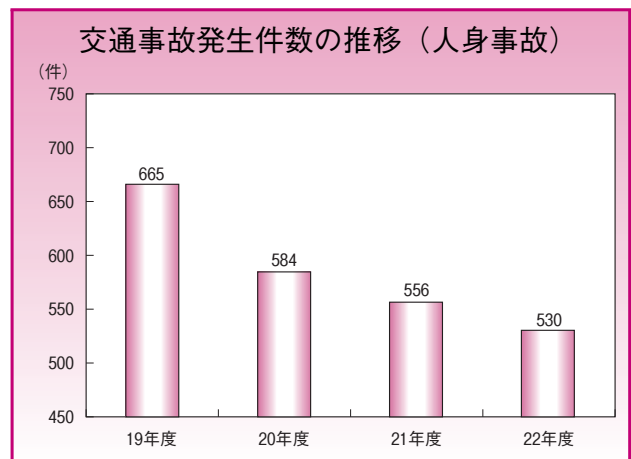
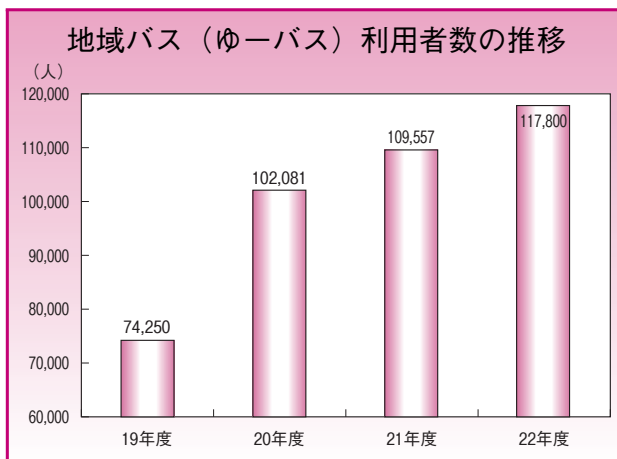


基本施策 2-④ 公共交通網と交通安全対策の充実

現状

高齢者や障害者など交通弱者の移動手段として、また児童生徒の通学の足として、地域バス(ゆーバス)は大きな役割を担っていますが、さらに利用者ニーズの高い運行を目指していく必要があります。しかし、現在の地域バスは限られた運行路線であり、多様化するニーズや高齢化社会の進行に対応するためには、地域バスを含めた効率的で利便性の高い総合的な公共交通ネットワークシステムの構築が求められています。

また、継続して取り組んできた交通安全運動などにより、交通事故発生件数は年々減少傾向にはありますが、いまだ高い水準にあります。



課題

地域バスを含めた利便性の高い総合的な公共交通ネットワークシステムの構築

交通事故の発生の抑制

目指すべき方向

(1)公共交通網の充実

(2)交通安全対策の充実

基本施策 目標指標

市民満足度

基準値(平成22年度)

47点



目標値(平成28年度)

57点

※市民満足度は、「満足している」100点、「やや満足している」75点、「どちらともいえない」50点、「やや不満である」25点、「不満である」0点とした時の全回答者の平均得点

*公共交通システム：鉄道・路線バス・コミュニティバス・乗合タクシーなど、公共交通機関を適切に組合せた仕組みのこと。

具体的な施策

(1)-1 生活バス路線の充実

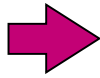
市民ニーズや乗客数を把握し、運行経路や運行時間の見直しを進め、地域バス（ゆーバス）の利便性の向上に努めます。併せて、民間事業者が運行する生活バス路線を維持できるように、県と協調して支援を行います。

主要事業 地域バス運行事業

目標値 利用者数

現状(平成22年度)

117,800人



目標(平成28年度)



(1)-2 公共交通システム構想の策定

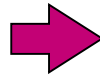
現在の地域バス（ゆーバス）の利便性と効率性の向上を図るとともに、市が保有する公共交通の資源などの活用を検討し、総合的なネットワークシステムの構築を目指します。

主要事業 (新) 公共交通システム構想* 策定事業

目標値 公共交通システム構想

現状(平成22年度)

未策定



目標(平成28年度)



(2)-1 交通安全意識の高揚

警察署や関係機関との連携により、幼児や児童生徒、高齢者など市民各層を対象とした交通安全教育を推進します。

交通安全運動の啓発を実施し、交通マナーの向上を図ります。

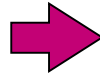
児童生徒登校時の交通指導員による街頭指導を充実します。

主要事業 市民総ぐるみ交通安全推進啓発事業

目標値 交通事故（人身事故）発生件数

現状(平成22年度)

530件



目標(平成28年度)



(2)-2 交通安全施設の充実

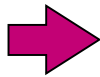
危険箇所への啓発看板の設置を図ります。警察署と連携し、危険箇所への信号機や規制標識などの設置を促進します。

主要事業 交通安全施設管理事業

目標値 交通事故（人身事故）発生件数

現状(平成22年度)

530件



目標(平成28年度)



(2)-3 駐車場・駐輪場の充実

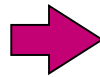
市営駐車場と駐輪場の充実に努め、駅周辺の交通安全の確保に努めます。

主要事業 駐車場管理運営事業

目標値 駐車場利用台数

現状(平成22年度)

212,528台



目標(平成28年度)



自然と共生する
まちづくり

快適で潤いのある
まちづくり

健やかに安心して暮らせる
まちづくり

安全で便利な
まちづくり

活力を創出する
まちづくり

豊かな心と文化を育む
まちづくり

創意と協働による
まちづくり